

えもんみつけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!



市議会の様子です!

写真提供:市広報広聴課

REPORT 146

市民のために頑張る 議会を傍聴しませんか

市の予算や条例など、私たちの暮らしに密接したいろいろなことを決める市議会。でも実際にどのように行われているのか、知らないことがいっぱい。

知らずに過ごしている議員や事務局の活動の一部をのぞいてきました。

市民が選ぶ、市民の代表・市議会議員。とはいえ、選挙以外でお目にかかることは少ないかもしれません。議員の仕事で大きな位置を占める議会について議会事務局に聞いてきました。

市議会は市役所から独立した機関で、全ての議員と議会の運営を担当する議会事務局で構成されています。議会は1年に4回、3の倍数月に開催されます。
初日に市長が議案を提示して、その説明をします。その後1週間、議案について各々吟味する期間があ

ります。2日目から4日目までは各議員が一般質問をし、5日目に議案についての採決をします。

議会といえば、ヤジや怒号が飛び交うようなイメージもあるかもしれませんが、ところが実際は、5日目の採決の前にも1週間の期間をかけて、各委員会で担当の内容について十分に協議、審査をするのです。5日目はその審査内容、結果をもとに採決をとるのです。

傍聴するには

本会議だけではなく、各委員会や予算委員会を構成する分科会も全て傍聴することができることを



議会事務局に行くと貸してくれます。議会の座席表や一般質問などの資料もあって親切ですよ。



委員会室。議会事務局の奥にあります。

写真提供:市広報広聴課

知っていますか。

本会議の傍聴席は72席と車いす用4席があります。委員会や分科会は各定員5人で、傍聴希望者が定員より多いときは抽選により傍聴者が選ばれます。

傍聴には特に必要なものもありません。開催日に東庁舎の議会事務局に行けば大丈夫です。傍聴中は、飲食や私語等は厳禁です。

会議の様子は、市のホームページ(市議会と検索)でも中継されていますし、録画も閲覧することができます。

興味があることを

市議会では、もちろん議会だよりで議会の内容を知らせています。ただ、法律用語等を正しく使わ

なければいけないために、市民にとっては普段耳慣れない言葉になりがち。制作担当者は、分かりやすく伝えたいのに、というジレンマを感じることもあった。

議会だよりが難しい、と感じている人、百聞は一見に如かず。文章を読むより議会を傍聴するといろいろ分かって面白い!

市民の代表である議員がより良い市政のために質問しているところ、各分野への予算配分、どう使われたかなど自分の興味ある分野から、まずは傍聴してみませんか。

編集後記



ヤンメイ

一般質問を傍聴してきました。写真でしか見たことのなかった議場の広さや質感に感動。
身近な問題や地域のことを考え行動してくれている議員、議会運営を支える議会事務局の皆さんに感謝!

今回の取材先
議会事務局

〒76-11600
※東庁舎3階

大切な家族だから ちゃんと見送りたい



おうちで飼われている犬や猫、ハムスターにうさぎ、鳥たち。そんな家族同然のペットたちの最期を見送る仕事を小牧で始めた「スマイルセレモニー」の皆さんにペットへの思いを聞いてきました。

犬好きが高じて、この仕事を始めたと話す代表の嶋田龍介さん（写真右）。ともに仕事をする北原勉さん（写真左）とは、十数年来の友人であり、二人とも無類の犬好き。北原さんは、



専用の火葬車。自宅付近で火葬するご自宅でも可能です。匂いや煙は出ません。

以前、公園に捨てられていた犬を拾ってきて、大切に大切に育て、15年以上共に生活し、天国へ旅立ってしまったときには、お墓を自作してしまつたほど。

そんな経験から、共に楽しい時間を過ごした家族とも言えるペットたちが亡くなるにつれて「物」のようない扱いを受ける状況をなんとかしたい、家族が納得のいく見送りを手助けしたいという思い、自分ならこうしてほしいという思いを形にしたら、スマイルセレモニーが出来上がったそう

です。

任せて安心

せめて、個別で火葬してあげたい、ちゃんと納骨してあげたい、きちんと骨を拾ってあげたい、家族みんなで立ち会いたい、仏壇を設えたいなど思いはいろいろあるはず。

スマイルセレモニーでは、持ち込みだけでなく、引き取りもしてくれます。個別火葬はもちろん、立会火葬もしているし、さまざまナリクエストも可能な限り対応してくれます。49日まで斎場で安置してから納



写真左は、火葬用の布団。これだけ用意してあげたいと嶋田さんは話します。お花の手配もします。写真下は、信楽焼の骨壺。一番左の骨壺は、土に帰る骨壺で、最近、開発されたものだとか。あくまでも飼い主さんの希望で用意するそうです。

写真右下は、カプセルの中に大切なペットの遺骨をいれつつも近くにおいておけるグッズ。名前などの刻印ができます。下は、骨袋。可愛いものからオシャレな雰囲気のものまでペットのイメージで選べます。



この看板も目立つけれど、QRコードが多いらしい

骨するので、それまではお参りもできます。市内のお寺と提携し、合同墓地などの紹介もします。

遺骨カプセルや写真を

置物にしてくれるなどのメモリアルグッズもいろいろあって驚くほど。

飼い主さんに寄り添う

「悲しい仕事かもしれないけれど、大切なペットへの思いが分かるから、思いに添えていきたい」と、話します。飼い主さんにとって、地元にあつていざというときに安心できる場所になれそうです。



49日まで骨を安置する斎場。広くてきれいなスペースでワンちゃんもいるので死ぬのが怖くない。

編集後記



みる

ペットロスって聞きますよね。立会い火葬で、ちゃんと骨を拾ってあげること、ペットが旅立ったことを理解して、心の整理ができることもあるそうです。納骨。

今回の取材先

スマイルセレモニー

住所 久保一色1-49-1-2
〒0120-2202 2416
HP スマイルセレモニーで検索